

# 赤穂

AKO  
まちづくりの結晶

発行：赤穂市

〒678-0292 兵庫県赤穂市加里屋81番地

TEL 0791-43-3201(代表)

FAX 0791-43-6892

<http://www.city.ako.lg.jp/>

## まちづくりの結晶

古くから塩の産地として名高い赤穂。結晶とは「活動した結果が目に見える形をとって現れること」を意味します。豊かな自然環境や、赤穂義士をはじめとした歴史・文化、市民協働のまちづくり…。それら一つひとつの要素（結晶）がひとつになり、「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」が形成されていく姿を冊子のコンセプトとしました。



赤穂市市勢要覧  
2016改訂版



赤穂観光マスコットキャラクター「陣なごん」

# 赤穂

AKO

## まちづくりの結晶

人が輝き 自然と歴史・文化が薫る

やさしいまち

赤穂市は、縄文・弥生時代の遺跡や忠臣蔵ゆかりの遺産などが示しますように、歴史・文化の薫り高く、塩のまちとしても広く知られ、播磨灘や千種川の清流、そして豊かな自然に育まれた魅力あふれるまちです。

昭和26年(1951)に赤穂町、坂越町、高雄村が合併し誕生して以来、先人たちの英知と弛まぬ努力により、現在に至るまで着実に発展を遂げてまいりました。

赤穂で生まれ育った私にとりまして、ふるさと赤穂を愛する気持ちは誰にも負けないと自負しておりますが、先人から受け継がれてきたこれらの財産を大切にしながら、この赤穂市の魅力をさらに磨き上げ、市民一人ひとりが、このまちを愛し、このまちに誇りをもっていただけるまちづくりを進め、目標とする都市像「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」が実現するよう取り組んでまいります。

この市勢要覧を通して、赤穂市の魅力をより多くの方にお伝えすることができれば幸いに存じます。



赤穂市長  
明石 元秀



# 人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち

## 赤穂市総合計画(平成23年～32年)

### ● 人が輝き

市民、企業、各種団体、NPO、行政など、すべての主体がまちづくりの主人公。それぞれの主体が能力や個性を発揮し、互いに連携することで、すべての人がいきいきと暮らし、一人ひとりの笑顔がまち全体を輝かせることをイメージしています。

### ● 自然と歴史・文化が薫る

赤穂市の豊かな自然や歴史・文化遺産は、市の魅力を高める地域資源であり、大切な財産です。過去から受け継いだ自然や歴史・文化を大切にしながら、新たな魅力を創出し、未来へとつないでいきます。

### ● やさしいまち

人に対する思いやりや慈しみのこころ、自然・歴史・文化等の地域資源を大切にすることを「やさしさ」のあふれるまちづくりを進めていきます。

安心  
安全・安心に生活できるまち

快適  
自然と共生する住みよいまち

にぎわい  
産業と交流が盛んな活力のあるまち

連携  
市民と行政がともに歩むまち

学び  
生涯にわたり夢を育むまち

## Contents

- 2 市長メッセージ / 人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち
- 4 安心 : 安全・安心に生活できるまち
- 6 快適 : 自然と共生する住みよいまち
- 8 にぎわい : 産業と交流が盛んな活力のあるまち
- 10 学び : 生涯にわたり夢を育むまち
- 12 連携 : 市民と行政がともに歩むまち
- 14 時代の結晶 ～赤穂市の歴史・文化～
- 16 赤穂市のあゆみ
- 18 AKO GUIDE MAP / 市の概要



■ 女性消防団の活躍

男女共同参画社会の促進と消防団活動の活性化を目指して女性消防団員を採用し、火災予防広報や防火教室、救急教室などのPR活動を実施しています。



■ 防災総合訓練

災害時に市民や防災機関、市が緊密な連携と協力のもと、すばやく適切に災害応急対策ができるよう、防災総合訓練を実施しています。



■ 高所放水車の導入

老朽化のため更新された新しい高所放水車は、はしごの長さ35m、伸縮水路管や先端屈折装置など最新の機能を備え、よりすばやく的確な消防活動が可能になりました。



■ 赤穂市民病院

急性期医療の一翼を担う地域中核病院として位置づけられています。さらに兵庫県からは、がん診療連携拠点病院、災害拠点病院として指定を受けています。



■ DMATカーの導入

大規模災害や事故の発生時に、医師、看護師、薬剤師などで構成する災害派遣医療チーム(DMAT)が、現場で医療行為を行えるようDMATカーを導入しました。

■ ユニバーサル社会づくり推進事業

地域全体で高齢者や障がいのある人、子どもなどすべての人にやさしく、安心して暮らせる環境を整えるため、ユニバーサル社会に対応したまちづくりを推進しています。



安心

# 安全・安心に生活できるまち

おもいやり  
満ちた  
福祉社会を築く



保健・医療  
サービスを  
充実する



生活の  
安全・安心を  
確保する

## 住み慣れた地域で安全・安心に生活できるまちを目指して

お互いを尊重し、支え合う地域社会の形成や福祉サービスの充実により、子育てしやすく、高齢者・障がいのある人が地域で安心して暮らせる、おもいやり満ちた福祉社会を築きます。

また、市民の健康づくりの支援や医療体制・サービスが充実したまちづくりを進めます。さらに、防災体制の整備や市民の防災意識の高揚、交通安全や防犯活動の推進、消費者問題に対する相談支援や情報提供の充実など、生活の安全・安心を確保します。

■ 赤穂東児童館の完成

赤穂東児童館は子育て支援の拠点として、平成26年(2014)4月に開館しました。赤穂、坂越、塩屋に続いて4施設目で、幼児用便器やベビーシート、授乳室などを設置。子育てを多面的に支援しています。



快適

# 自然と共生する 住みよいまち



## ■ 千種川



## 人と環境にやさしいまちを目指して

市民や環境ボランティアとの連携、環境教育の推進による恵まれた自然の保全や、下水道施設の維持管理などによるさわやかな市民生活の確保、「環境進化都市・赤穂」の実現など、自然と共生するまちをつくります。

また、土地区画整理事業などによる快適な住環境の創出、歴史・文化等の特徴を活かした美しい景観の形成、身近に緑や自然とふれあえる公園の整備など、魅力ある都市空間を形成します。さらに、地域の特性を活かした土地の有効利用・保全を図り、質の高い都市機能を整備します。

## ■ 船岡園の桜

船岡園は、情緒あふれる港町坂越の小高い丘にあります。坂越湾と国の天然記念物、生島を望むことができ、海の青を背景にするとその美しさを一層感じることができます。



## ■ 赤穂御崎の桜

瀬戸内海国立公園に位置する赤穂御崎では、ソメイヨシノのトンネルが訪れる人を歓迎します。穏やかな海風に舞う花びらに思わずため息がもれます。



## ■ 美化センターサマースクール

夏休みの社会学習として小学生を対象に開催しています。ごみ処理の仕方や普段は見られない施設現場を見学しながら、ごみ問題について一緒に考えます。



## ■ こどもエコクラブの活動

小学校高学年を対象に、美しい赤穂の自然に触れながら、環境問題への理解と関心を深められるよう、1年間さまざまな学習に取り組んでいます。

## ■ 住宅用太陽光発電システム設置費補助

自然エネルギーに関心が高まる中、市民レベルで低炭素社会づくりを推進するために、住宅用の太陽光発電システム設置費の補助制度を設けています。



## ■ 質の高い都市機能の整備

少子高齢化や人口減少社会へ移行する今後の社会情勢に対応できるよう、計画的な土地利用や、バランスのとれた地域活力のある発展を図るため、適切な土地利用の誘導に取り組んでいます。



## ■ 赤穂城跡公園整備

市のシンボルである赤穂城は、計画的な復元と整備によって「日本の歴史公園100選」や「日本100名城」にも選ばれており、学習の場、憩いの場、観光地として幅広く利用されています。





■ 循環バス「ゆらのすけ」

地域の公共交通として、市内のバス交通不便地域の解消や、高齢者・障がいのある人等の移動手段の確保を主な目的として運行しています。



■ 地域情報化の推進

光ファイバー網の整備や情報提供サービスの充実により、社会のニーズに即座に対応する多様な情報サービスを、いつでもどこでも得られることができる情報環境づくりを推進します。



■ 定住人口増加に向けた取り組み

「住むのにちょうどいいまち赤穂」を市外へPRし、定住応援商品券の交付、定住相談会の開催、定住促進パンフレットの発行など、定住人口の増加に努めています。



■ 多様な地域連携事業の推進

広域連携として定住自立圏構想と推進するとともに、新たな連携中枢都市圏構想への参加など、魅力や活力のある地域づくりを進め、交流・定住人口の増加を図っています。



■ 地産地消の推進

学校給食の赤穂産デーでは、古代米や赤穂みかんなど地元産食材を取り入れた献立が立てられます。また、市内各所で開催される軽トラ朝市や収穫祭などで、地産地消を盛り上げています。



■ 赤穂塩ラーメン

鶏がら、豚骨、魚介などさまざまなスープのだしをベースに、「赤穂の塩」をブレンドしたオリジナリティーあふれるご当地グルメです。



■ 赤穂雲火焼

大嶋黄谷が江戸時代後期に創出。象牙色の陶肌に黒色を加味した独特の紋様が特徴で、赤く燃え上がるような夕焼け雲を連想させます。陶土及び焼成方法不明の幻の焼き物とされていましたが、市内の陶芸家が昭和57年(1982)復元に成功。赤穂の新しい郷土工芸品として親しまれています。

# 産業と交流が盛んな 活力のあるまち

活力とにぎわいのあるまちを目指して

地域産業の連携や地域ブランドの創出、観光客にとって「訪れてよし」市民にとって「住んでよし」のまちづくり、企業誘致の推進による就労の場の確保など、活力ある産業を形成します。

また、定住自立圏構想や連携中枢都市圏構想をはじめ、地域間交流、国際交流など、市内外における多様な交流を進めます。さらに、産業経済活動や市民生活を支える道路網、地域の実情にあった交通手段など交流基盤を整備するほか、多様な情報サービスに努め、地域情報を推進します。

活力ある産業を形成する

多様な交流を推進する

交流基盤を整備する

地域情報化を推進する

■ 西オーストラリア州 ロッキングハム市との交流

平成9年(1997)に姉妹都市を提携して以来、公式訪問団、市民訪問団、そして学生訪問団がお互いの市を毎年訪れるなど交流の輪が広がっています。今後も市民レベルでの草の根交流を推進していきます。



■ 赤穂緞通

佐賀の鍋島緞通、大阪の堺緞通と並ぶ日本三大緞通の一つ。児島なが、嘉永2年(1849)に考案し、昭和期には一旦途絶えましたが、平成11年(1999)に「赤穂緞通を伝承する会」が発足。保存と伝承に取り組んでいます。



■ ル・ボン国際音楽祭 赤穂・姫路

市民や将来を担う子どもたちが気軽にクラシック音楽を楽しめる環境をつくり出すことなどを目的に、赤穂と縁のある世界的ヴァイオリニスト、榎本大進氏を音楽監督に迎え、国際音楽祭を開催しています。



■ 赤穂シティマラソン大会

市制施行60周年を記念して始まった赤穂シティマラソン大会。赤穂城南緑地や赤穂城跡、御崎(国立公園)など元禄ロマンが漂う風光明媚なコースに、多くのランナーが駆け抜けます。

■ 地域の秋祭り

瀬戸内三大祭りのひとつとされる坂越の船祭りをはじめ、歴史と実りの豊かな赤穂ならではの秋祭りが各地で開催され、多くの観光客でにぎわいます。



坂越の船祭り



尾崎の獅子舞



■ 特色ある教育活動の推進

児童、生徒の興味・関心を大切にしながら、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と、思考力、判断力、表現力、課題を解決する力などを育み、主体的に学習に取り組む教育活動を推進しています。

学び  
生涯にわたり夢を  
育むまち

教育環境を整える

生涯学習・スポーツ活動を推進する

個性ある地域文化を創造する



■ トライやる・ウィーク

市内のすべての中学2年生が1週間学校を離れ、地域や自然の中で、さまざまな活動や体験を通して感性や創造性などを高め、自分の生き方を見つめる活動を行っています。



■ 高齢者大学

各地区公民館では、60歳以上の市民の皆さんの生涯学習の場として、高齢者大学を開設しています。社会参加・福祉・健康・生きがいなど多岐にわたる講座の受講や自主活動を実施しています。

誰もがこころ豊かに夢を育めるまちを目指して

学力や豊かな人間性、生きる力を学校や地域等で育むとともに、障がいのある子どもへの適切な教育により、互いに学び合う力を育てます。また、学校・保護者・地域住民が一体となった子育てや、青少年のすこやかな育成を推進するなど、教育環境を整えます。

誰もが個性や能力を発揮できるまちづくりや、健康とスポーツを新機軸とした「スポーツ先進都市」の実現など、生涯学習・スポーツ活動を推進します。さらに、本市固有の歴史や伝統文化、文化芸術活動に多くの人々が親しめる環境を創出し、個性ある地域文化を創造します。



■ まちづくり市長懇談会  
開かれた市政を推進するため、市長をはじめ市幹部職員が地域に向き、直接市民と懇談する場を設け、市の将来やまちづくりの課題などの意見交換を行います。

連携

# 市民と行政がともに歩むまち

市民との協働を推進する

健全で効率的な行財政運営を行う

多様なコミュニティ活動を活性化

## 自律と協働のまちを目指して

市民、企業、各種団体、NPO、行政などの連携・協力や、行政情報の公開、市民との情報共有、男女が対等な構成員として参画するなど、市民との協働を推進します。

また、多様なコミュニティを活性化し、地域の特性を活かしたまちづくりを進めます。さらに、健全で効率的な行財政運営を行い、持続可能なまちづくりを進めます。



### ■ 広報あこう

市からのお知らせや施策の取り組み結果など、市民生活に欠かせない情報を掲載しています。より多くの方に読んでもらうために、コンビニエンスストアやスーパーなどでも配布しています。



### ■ 健全で効率的な行財政運営

多様化・高度化し、増大する市民ニーズに的確に対応するため、健全で効率的な行財政運営を推進しています。平成27年(2015)には、赤穂市総合戦略を策定し、まち・ひと・しごと創生による活力ある社会の実現に向け取り組んでいます。

### ■ ホームページ

わかりやすく、親切でやさしいホームページとなるよう平成23年(2011)にリニューアルしました。平成24年(2012)には、地域ポータルサイト「東備西播ともりんく」を運用開始し、行政情報や地域情報などを発信しています。



### ■ でえしよん祭り

赤穂発祥のまさこい風の創作音頭「でえしよん」。祭り当日、赤穂海浜公園では1,000人を超える踊り子たちの熱気に包まれます。



### ■ 市民の夕べ 播州赤穂花火大会

赤穂の夏の風物詩として、市民に親しまれている花火大会です。2,500発の花火が夜空を彩り、盆踊りやステージイベントなどでにぎわいます。

### ■ 各地区ふるさとまつり

各地区の公民館などで開催されます。作品展示や出店、バザーなどのふれあいの場を通じて、住みよいまちづくりを目指し、また地域の活性化を図っています。





**本丸門**

本丸内に旧製の県立赤穂中学校の校舎が建てられた際、本丸門の石垣はその姿を失いましたが、平成8年(1996)に枡形石垣と高麗門、櫓門が復元されました。

# 時代の結晶

## ～赤穂市の歴史・文化～

### 国史跡 赤穂城跡

現在の赤穂城は、正保2年(1645)に常陸国笠間(現在の茨城県笠間市)から入封した浅野長直が、藩の軍学師範であった近藤正純に築城設計を命じ、慶安元年(1648)から寛文元年(1661)までの13年の歳月を費やして築いたもので、当時の著名な軍学者であった山鹿素行の手も加えられたと伝えられています。そのため、赤穂城は甲州流軍学に従って築かれており、軍学手法を各所に取り入れた非常に珍しい変形輪郭式の海岸平城となっています。現在、築城当時の姿を取り戻すため、公有化と城郭遺構の復元整備を進めています。



**三之丸大手門と大手隅櫓**

赤穂城の表玄関である大手門の枡形とその周辺は、復元整備によって築城時の姿を取り戻し、ガイダンス施設として番所跡休憩所が設置されています。

**市立歴史博物館**

赤穂城の米蔵をイメージした建物で、赤穂の塩・赤穂の城と城下町・赤穂義士・旧赤穂上水道を常設展示とし、随時、特別展なども開催しています。



### 赤穂義士 ゆかりの地

**赤穂義士祭**

大石内蔵助以下四十七士が仇討ちを果たした12月14日に開催されるイベント。討ち入り装束に身を包んだ義士たちによる忠臣蔵パレードが繰り広げられます。

『仮名手本忠臣蔵』のモデルとなった元禄赤穂事件。亡き主君への忠義と武士の道を貫いた赤穂義士たちの物語は、今も人々の心を揺さぶり続けています。

赤穂藩主浅野内匠頭長矩が、江戸城本丸御殿の松之廊下で吉良上野介義央を斬りつけたことによって、内匠頭は即日切腹、赤穂浅野家は断絶となりました。幕府の裁きを不服とした大石内蔵助良雄をはじめとする義士たちは、刃傷事件から1年10ヵ月後に、主君の無念を晴らしたのです。



息継ぎ井戸



花岳寺



大石神社



坂越の町並み



### 情緒あふれる港町・坂越

坂越は、豊かな自然と歴史的建造物との調和が美しい港町。漁業と廻船業を中心に栄えた町並みとその歴史を物語っています。

坂越湾に浮かぶ生島の原生樹林は、国の天然記念物に指定され、大避神社の祭神である秦河勝の漂着伝説も伝えられています。海岸部では、石垣の上に建てられた町家を、また港と千種川とを結ぶ大道では、漆喰壁と虫籠窓を備えた二階建の町家を見ることができ、この独特の町並みは、景観形成地区に指定されています。昔も今も自然と歴史が香る美しい町並みの情緒あふれる港町です。

### 赤穂歳時記

- 海水浴
- キャンプ
- 市民の夕べ(8月第1土曜日)

- 潮干狩り(4月~6月)
- 赤穂御崎さくらまつり(4月)
- 春の義士祭(4月第2日曜日)
- 千種川あゆ釣り(5~12月)



市民の夕べ



みかん狩り

- 観月会(9月)
- 坂越の船祭り(10月第2日曜日)
- 赤穂八幡宮秋祭り(10月第3日曜日)
- 塩屋荒神社秋祭り(10月第3または第4日曜日)
- みかん狩り(10月~11月)
- 赤穂シティマラソン大会(11月)
- 赤穂でえしよん祭り(11月)

- 赤穂義士祭(12月14日)
- 赤穂かきまつり(2月上旬)
- 義士命日法要(2月4日)
- しらうお漁(2月)
- 浅野長矩公命日法要(3月14日)
- いかご漁(3月)

赤穂かきまつり

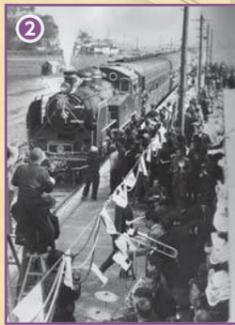


# 赤穂市のあゆみ



## 昭和26年(1951)

- 9月 赤穂町、坂越町、高雄村が合併し、赤穂市が誕生 ①
- 10月 鳥羽嘉壽夫市長就任
  - 〳 第1回市民総合体育祭開催
  - 〳 第1回市民文化祭開催
- 12月 国鉄赤穂線相生-播州赤穂間開通 ②



© 交通科学博物館

## 昭和28年(1953)

- 5月 小幡榮亮市長就任

## 昭和29年(1954)

- 10月 市民病院改築

## 昭和30年(1955)

- 3月 国鉄赤穂線播州赤穂-日生間開通
- 4月 有年村を赤穂市に合併
- 5月 赤穂城隅櫓復元 ③



## 昭和31年(1956)

- 5月 旧市庁舎完成

## 昭和32年(1957)

- 10月 国立公園特別地域(御崎、丸山)、特別保護地区(生島)指定

## 昭和34年(1959)

- 1月 御崎観光道路開通

## 昭和36年(1961)

- 9月 市制施行10周年

## 昭和37年(1962)

- 9月 国鉄赤穂線相生-岡山間全線開通

## 昭和38年(1963)

- 9月 岡山県日生町大字福浦地区を赤穂市に編入 ④

## 昭和40年(1965)

- 3月 水道事業所庁舎完成
- 4月 消防署設置
- 12月 赤穂青少年武道館完成



## 昭和42年(1967)

- 7月 交通安全都市宣言

## 昭和43年(1968)

- 6月 塩業資料館完成
- 8月 公害緩衝緑地(グリーンベルト)着手

## 昭和44年(1969)

- 4月 市民病院救急病院に指定
- 5月 老人福祉センター完成
- 9月 学校給食センター開設

## 昭和45年(1970)

- 1月 兵庫、岡山県境調印式
- 4月 新赤穂大橋完成
- 5月 塩屋青少年武道館完成
- 11月 消防庁舎完成

## 昭和46年(1971)

- 3月 赤穂城跡が国の史跡指定

- 8月 第1回市民の夕べ開催
- 9月 環境保全条例を制定
  - 〳 市制施行20周年、市の木「サクラ」、市の花「ツツジ」を選定
- 10月 市民病院全館完成
- 11月 市旗を制定

## 昭和47年(1972)

- 3月 山陽新幹線運転開始
- 7月 図書館完成

## 昭和48年(1973)

- 5月 笠木忠男市長就任

## 昭和49年(1974)

- 5月 市民会館完成
- 7月 台風8号による集中豪雨(災害救助法適用)

## 昭和51年(1976)

- 9月 台風17号による集中豪雨、全市未曾有の災害(災害救助法適用・激甚災害指定) ⑤

## 昭和52年(1977)

- 4月 グリーンベルト全事業完成

## 昭和53年(1978)

- 4月 赤穂西小学校開校

## 昭和54年(1979)

- 5月 野外活動センター完成

## 昭和55年(1980)

- 11月 茨城県笠間市と姉妹都市提携 ⑥

## 昭和56年(1981)

- 7月 市民総合体育館完成
- 8月 新市庁舎完成 ⑦
- 〳 下水道管理センター完成

- 9月 市制施行30周年、市歌、市民憲章制定

- 〳 公共下水道供用開始

- 〳 市史第1巻発刊

## 昭和57年(1982)

- 3月 山陽自動車道(竜野-備前間)開通、赤穂IC設置
- 12月 旧上水道モニュメント通水

- 〳 民俗資料館開館

## 昭和58年(1983)

- 2月 総合福祉会館完成

- 5月 武家屋敷公園オープン

## 昭和59年(1984)

- 4月 城西小学校開校

## 昭和60年(1985)

- 12月 非核平和都市宣言

## 昭和62年(1987)

- 6月 県立赤穂海浜公園開園

- 〳 海洋科学館開館

- 7月 「忠臣蔵」初巻発刊

## 昭和63年(1988)

- 8月 全国高校総体剣道大会を市民総合体育館で開催

- 10月 住民情報オンラインシステム始動

## 平成元年(1989)

- 4月 歴史博物館開館

- 5月 岩崎俊男市長就任

- 11月 第1回忠臣蔵旗少年剣道大会開催

- 12月 第1回義士親善友好都市交流会議(義士サミット)開催

## 平成3年(1991)

- 1月 北爪照夫市長就任

- 9月 市制施行40周年



## 平成4年(1992)

- 4月 坂越地区景観形成地区に指定
- 5月 文化会館(ハーモニーホール)開館

## 平成5年(1993)

- 2月 赤穂海浜大橋完成 ⑧

## 平成6年(1994)

- 3月 磯産業団地完成
- 5月 赤穂市国際交流協会設立
- 8月 旧坂越浦会所復元工事完成



## 平成7年(1995)

- 3月 坂越まち並み館完成
- 4月 有年原・田中遺跡公園開園

## 平成8年(1996)

- 3月 赤穂城本丸門復元完成
- 4月 東有年・沖田遺跡公園開園 ⑨



## 平成9年(1997)

- 4月 関西福祉大学開学 ⑩
- 〳 西オーストラリア州ロッキングハム市と姉妹都市提携

- 10月 田淵記念館開館

## 平成10年(1998)

- 2月 市民病院移転改築、開院
- 3月 忠臣蔵'99(大河ドラマ「元禄繚乱」)キャンペーン実行委員会設立
- 7月 消防本部庁舎移転改築、防災センター業務開始
- 11月 お城通り地区を市街地景観形成地区指定

## 平成11年(1999)

- 1月 元禄赤穂展示館オープン
- 4月 第1回しおばなまつり開催
- 6月 赤穂ふれあいの森「かぶ〜ん うね」オープン
- 9月 公式ホームページ開設

## 平成12年(2000)

- 3月 赤穂ふれあいの森完成
- 12月 JR播州赤穂駅橋上駅舎・南北自由通路完成
- 〳 商業ビル「プラット赤穂」オープン

## 平成13年(2001)

- 3月 忠臣蔵300年祭開幕(〜平成15年2月4日)
- 9月 市制施行50周年
- 〳 観光情報センターオープン
- 10月 加里屋交通広場(いきつき広場)完成
- 12月 新図書館竣工(平成14年3月3日開館)

## 平成14年(2002)

- 2月 熊本県山鹿市と姉妹都市提携
- 3月 加里屋まちづくり会館完成
- 9月 本丸庭園・二之丸庭園が旧赤穂城庭園として国の名勝指定

## 平成15年(2003)

- 1月 豆田正明市長就任
- 3月 赤穂城大手門枳形復元完成
- 8月 国史跡赤穂城跡に三之丸外堀の一部が追加指定

## 平成16年(2004)

- 9月 台風21号による床上浸水等の被害

## 平成17年(2005)

- 3月 赤穂駅前大石神社線(お城通り)整備完成

- 10月 市内循環バス「ゆらのすけ」運行開始

## 平成18年(2006)

- 3月 赤穂市ハザードマップ全戸配布
- 5月 「赤穂安全・安心ステーション」創設
- 6月 「みまわりくん」青色回転灯防犯パトロール開始
- 10月 第61回国民体育大会「のじぎく兵庫国体」、剣道競技を市民総合体育館で開催

## 平成19年(2007)

- 1月 市民病院が地域がん診療連携拠点病院に指定
- 9月 兵庫県・西播磨地域合同防災訓練実施
- 〳 上郡町との合併の是非を問う住民投票実施
- 〳 第1回赤穂義士杯青少年柔道大会開催
- 10月 赤穂国際音楽祭2007開催

## 平成20年(2008)

- 3月 第1回近畿高等学校剣道選抜大会開催
- 4月 赤穂ふるさとづくり寄付金スタート
- 7月 赤穂観光大使委嘱開始
- 8月 第1回赤穂とれたて朝市開催

## 平成21年(2009)

- 10月 赤穂国際音楽祭 Le Pont 2009開催
- 12月 東備西播定住自立圏形成協定締結 ⑪



## 平成22年(2010)

- 4月 赤穂市消防団本部に女性部設置
- 12月 総合計画策定「人が輝き自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」

## 平成23年(2011)

- 7月 赤穂国際音楽祭 Le Pont 2011開催
- 9月 市制施行60周年
- 〳 赤穂観光マスコットキャラクター「陣たくん」誕生
- 11月 第1回赤穂シティマラソン大会開催
- 12月 からくり時計「義士あんどん」完成

## 平成24年(2012)

- 2月 スポーツ都市宣言
- 〳 東備西播定住自立圏圏域バス運行開始
- 10月 ル・ボン国際音楽祭2012
- 赤穂・姫路市との共同開催で実施(以降、毎年開催中)

## 平成25年(2013)

- 4月 赤穂元禄スポーツセンター完成
- 8月 第1回赤穂市「いじめ・暴力追放」市民大会開催
- 9月 本会議映像のインターネット配信開始

## 平成26年(2014)

- 1月 忠臣蔵全7巻完結
- 8月 第1回東京あここのつと開催

## 平成27年(2015)

- 1月 明石元秀市長就任
- 5月 赤穂海浜スポーツセンター完成 ⑫
- 10月 「赤穂市人口ビジョン」及び「赤穂市総合戦略」策定
- 12月 播磨圏域連携中枢都市圏形成に係る連携協約締結 ⑬





# AKO GUIDE MAP

赤穂市では、まちのいたるところで四季折々の美しい姿や、城下町ならではの佇まいを見ることができます。まちを彩る数々の名所を巡ってみましょう。



## 塩の国

美術工芸館・田淵記念館



大避神社



東有年・沖田遺跡公園



民俗資料館



赤穂御崎

## 市の概要

赤穂市は、兵庫県の南西部、岡山県との県境に位置し、東は相生市、西は岡山県備前市、北は赤穂郡上郡町と接しているまちです。まちのほぼ中央を名水百選に選ばれた清流千種川が流れ、北には緑豊かな山々が連なり、南は海岸線が瀬戸内海国立公園の一角を占めているなど、風光明媚な自然を有しています。また、忠臣蔵のふるさと、塩のまちとしても知られ、市内には赤穂城跡や赤穂義士ゆかりの史跡が数多く残っています。このように、温暖な気候・風土の中、赤穂市は豊かな自然と貴重な歴史が調和しているまちとして、先人たちの英知と経験を活かした発展を続けています。

## 赤穂市

東経134°18' ~ 134°28'  
北緯 34°43' ~ 34°51'

兵庫県

## 市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをきずきます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくれます。
1. 互いに助けあい、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくれます。



市章



市の木  
サクラ



市の花  
ツツジ

## 姉妹都市



愛知県  
笠間市  
昭和55年(1980)  
11月7日提携



熊本県  
山鹿市  
平成14年(2002)  
2月3日提携



西オーストラリア州  
ロッキングハム市  
平成9年(1997)  
4月15日提携